



# 公共施設も **歳** をとる

皆さんは、市の体育館や図書館など公共施設を利用したことはありますか？ 今後10年～20年の間には、過去に整備された公共施設が大量に建て替え時期を迎え、さまざまな問題に直面します。

そこで、下関市では老朽化対策として、3つの基本方針を策定しました。

行政管理課  
しものせきこ  
霜野 積子さん

※登場する漫画の人物は架空の人物です。  
実在の人物などとは関係ありません。

何が起きるの？

昭和40年代半ば～50年代  
多くの施設を整備

学校・市営住宅・公民館など、昭和57年をピークに、昭和40年代半ば～50年代にかけて、用途に応じて多くの施設を整備してきました。



平成37年～47年ごろ

一斉建て替えの時期

下関市の公共施設の平均築年数は31年(平成25年度末現在)。一斉に建て替えの時期を迎えます。



しかし、このままでは  
大きな問題が…!!

公共施設のあれこれ

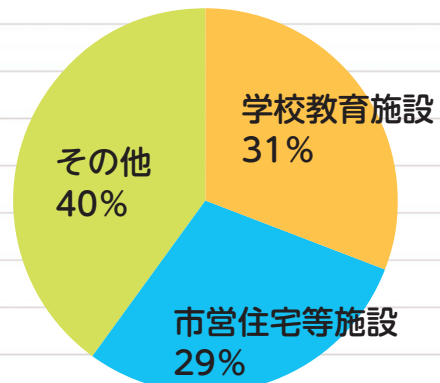
Q. 下関の公共施設は平均31歳！施設が歳をとると、どんな心配事があるの？

A. 老朽化に伴う不具合の発生が増えてきます。配管に穴が開いて漏水したり、屋上の防水が悪くなって雨漏りしたり、外壁が剥がれ落ちたり…修繕にお金がかかります。さらに、一般的に建物の寿命は60年とされていますので、今後10年～20年の間には多くの施設で建て替えの検討が必要になります。



Q. 下関の公共施設はどのくらいあるの？

A. ● 1,110施設  
● 総延床面積：約155万平方メートル  
▶ 学校教育施設と市営住宅等施設の2つが全体の約6割を占めていることが特徴です。



行政管理課  
かんだ  
館田係長

# 公共施設とは どんなもの？



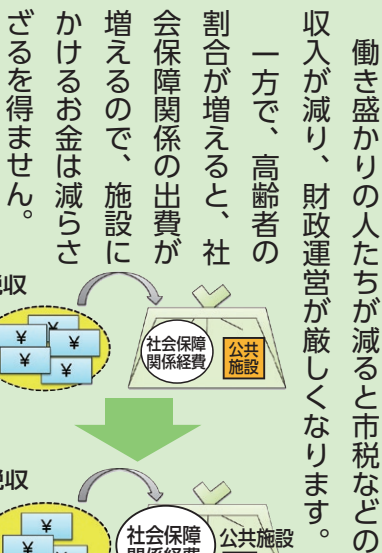
ここでいう「公共施設」とは、市庁舎のほか、市が設置している公民館、体育館、図書館、学校、文化施設などをいいます。

この問題を切り抜けるために策定した基本方針を紹介します

下関市の人口は、平成47年〜平成52年にかけて20万人を割り込み、高齢者人口の割合は、平成22年の29%から平成52年には約39%まで増加することが予測されています。



世代構成が変わると…

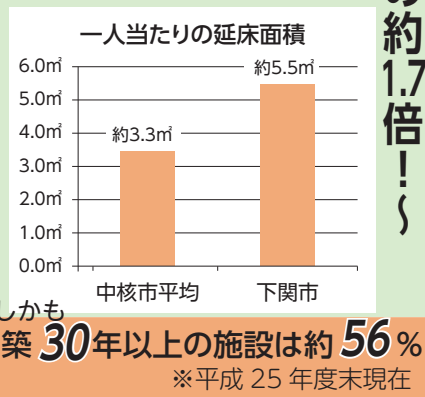


**財政問題!!**  
施設にお金がかけれない

**問題②人口減少と高齢化がとまらない**

働き盛りの人たちは減っています

下関市民1人当たりの公共施設の延床面積は約5.5平方メートル、中核市の中では最も多く、中核市平均の約3.3平方メートルと比べると約1.7倍です。



このままだと…

昭和40年代半ばから50年代にかけて整備した施設で老朽化が進んでいます。このままだと古くなった施設は危険な施設に姿を変えてしまいます。いつ壊れるかもしれない「時限爆弾」になるのです。

他市にもまして老朽化対策にしっかりと取り組まないとイケないんです!



**問題①多くの公共施設を抱えている**  
市民1人当たりの延床面積は中核市平均の約1.7倍!

**危険!!**



老朽化は待って欲しくない!!

昭和40年代半ばから50年代にかけて整備した施設で老朽化が進んでいます。

次の世代のため、そして魅力ある「新しいまちづくり」を進めていくための

# 3つの基本方針

1

## 施設のダイエット！

複合化・集約化により、施設の総量を減らします。

新しく建てるのではなく、他の施設と一緒にするなど、今ある施設を活用できないか検討します。



2

## 施設を長持ちさせる！

予防保全による長寿命化に取り組みます。

壊れてから直すのではなく、予防する仕組みに見直します。



3

## 施設の運営を見直します！

効率的で効果的な運営に取り組みます。

点検や清掃などの方法を見直したり、効率的な契約方法を検討するなど、施設にかかる費用をあらゆる角度から見直していきます。



もっと詳しく知りたい方へ

### ◆「公共施設マネジメント基本方針」の閲覧

市役所本庁舎本館1階「市政資料閲覧コーナー」で閲覧することができます。市ホームページでも閲覧できます。

下関市公共施設マネジメント基本方針



### ◆マンガ解説版もあります！

基本方針の概要を分かりやすく解説した「マンガ解説版」もあります。市ホームページで閲覧できます。



# 次の世代に負担をかけない 安心・安全な施設を引き継ぎ 魅力ある「新しいまちづくり」を 進めていきます



総務部長  
松崎 淳志

下関市では、公共施設の老朽化対策を推進しています。

下関市の公共施設は、主に昭和40年代半ばから50年代にかけて整備されています。このため、今後10年から20年の間に更新時期を迎える施設が多く存在し、多額の更新費用が必要となります。

しかし、全国の多くの地方公共団体と同様、人口の減少や少子高齢化が進むこと、また、財政的には今後も厳しい状況が続くことが予測されることなどから、今ある全ての施設を保有したまま施設の更新などを続けることは困難であり、公共施設の老朽化対策は差し迫った深刻な課題となっています。

こうした課題を解決し、今後の施設の維持管理と更新の在り方を方向付けるため、「下関市公共施設マネジメント基本方針」を策定しました。

市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## お知らせ

●詳細●  
行政管理課  
(☎ 231-1912)

### ◆出前講座をしています！ ご利用ください

公共施設の状況やこれからの取り組みについて出前講座を行っています。

気軽にお問い合わせください。



### ◆アンケートにご協力ください

公共施設の利用状況などのアンケートを2,500人（無作為抽出）の方にお送りしています。届いた方は、ご協力をお願いします。

